

経営学部 経営学科

【教育目標】

経営学科は、多様化する現代社会のニーズに対応すべく、企業経営・会計・マーケティング・情報システムなど事業活動に不可欠な幅広い知識を修得させることを目指します。個性豊かで活力ある人材の輩出と職能別・産業別に具体性の高い教科内容を拡大し、社会に有用な能力を修得させることを教育目標とします。

【ディプロマ・ポリシー】

経営学科では、多様化する現代社会のニーズに対応するための有用な能力を習得させる教育目標に基づき、経営学ならびに会計学に関する基礎知識を体系的に理解し、活用できることを求めています。また、それらの基礎知識の習得とともに、組織構成員に目的や使命感を与えること、綿密なコミュニケーションを図り、組織体の目的が達成できるような組織活動に貢献しうる以下の知識・能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与します。

① 一般教養

教養や外国語など社会で活躍する上で必要な知識を備えている人材

② コミュニケーション能力

組織の中において一般教養や専門的知識に基づき、他者と協調・協働して行動でき、主体的、かつ責任ある行動や意見を述べるのできる人材

③ 専門的基礎知識と環境への対応力

経営学ならびに会計学に関する基礎知識を備え、変動する現代社会のように、状況変化に対応できる判断力と論理的思考力を備えている人材

④ 社会で通用する専門性

経営学ならびに会計学に関する基礎知識とともに、以下の専門知識のいずれかの内容を習得している。

- ・ 経営管理、経営戦略、経営組織に関する知識を備えている。
- ・ 商品・サービス開発やマーケティングに関する知識を備えている。
- ・ 企業や様々な組織体の会計に関する知識を備えている。
- ・ 会計専門職の立場から企業等の活動を支援するための高度な専門知識を備えている。
- ・ ファッションビジネスに関する知識を備えている。

【カリキュラム・ポリシー】

経営学科では、ディプロマ・ポリシーで示した基礎知識の習得や企業や非営利組織体などの様々な組織体の運営という社会で欠かせない知識を身に付けるため、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. 経営学科の教育過程は、「総合教育科目」および「専門教育科目」を設け、年次ごとに段階的な学習ができる体系的なカリキュラムを構築しています。

・「総合教育科目」は、教養教育科目、言語文化科目および身体科学科目からなります。学士課程に相応しい幅広い学問分野の素養を身につけるとともに、経営学科の専門教育の学習にあたっての基礎学力を養います。

・「専門教育科目」では、各コース共通の専門基礎科目、ゼミナール科目、キャリアスキル科目、ビジネススキル科目、経営関連科目、会計・法律関連科目、テーマ別研究科目を設けるとともに、会計スペシャリストコース生およびファッションビジネスコース生を対象とした「特設科目」を設定しています。また、テーマ別研究科目では、「特定産業研究」、「経営学特殊講義」および「会計学特殊講義」、ファッションビジネスコース特設科目では、「ファッションビジネス特殊講座」を設け、様々な業界に関する実践的な内容やフィールドワークを実施し、多面的な教育を行い、組織の協働活動に貢献しうる学生を育成します。

2. 各科目の配当年次は、次のように定めています。

1 年次では、総合教育科目と経営学科における基礎的・入門的な科目、ゼミナール科目を配置する。

2 年次では、専門教育科目、特に基幹科目とゼミナール科目を配置する。

3 年次では、専門教育科目、基幹科目を踏まえた発展科目・応用科目、ゼミナール科目を配置する。

4 年次では、卒業研究（卒業論文の執筆等）を目的としたゼミナール科目を配置する。

経営学科では全てのコースにおいて、1 年次に「経営学基礎 A」および「会計学基礎」を必修科目と

して開講し経営学・会計学の基礎知識を習得させます。また1年次前期の「入門ゼミナールA」から4年次後期の「卒業研究」までのゼミナール科目を通して、他者と協調・協働して行動でき、主体的かつ責任ある行動や意見を述べる力を身につけます。

経営学コースでは、「経営戦略モデル」「経営組織モデル」「地域創造モデル」「会計モデル」の4つの履修モデルを設定し、これらを軸に将来の目標や進路に向けて、専門知識の理解の深化を図ることが出来る科目編成を行っています。

会計スペシャリストコースでは、経営学コースのカリキュラムを基本とし、経営学コース生とは異なる特定科目の必修化や選択必修化を設定するとともに、コース特設科目（上級商業簿記や上級工業簿記等）を設定し、簿記の上級資格の低学年時の合格を目指す科目編成を行っています。

ファッションビジネスコースでは、経営学に関する知識とファッション業界に関する知識を兼ね備えた、ファッション業界で活躍できる人材の育成を目指した科目編成を行っています。

これにより、ディプロマ・ポリシーに掲げる専門知識が修得できるとともに、組織体で活躍する中核的な人材を送り出すことができます。

【アドミッション・ポリシー】

経営学科では、株式会社をはじめとする営利企業、地方自治体や政府関連機関、公益法人などの非営利組織体など幅広い組織体で活躍できる人材の育成を目標としています。経営学科では、本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を受け入れます。

(求める学生像)

1. 基礎的・基本的な知識・技能

(1)高等学校までに学んだ教科・科目について、基本的な知識・技能を身につけている。

2. 思考力・判断力・表現力等

(1)学んだ知識の論点を整理し、その知識を活用して、組織活動においてコミュニケーションを図ることができる。

3. 主体的に学習に取り組む態度

以下のような意欲のある人を求めます。

(入学前)

(1)明確な目的意識をもち、主体的に勉学や他者との協働に取り組むことができる人

(入学後)

(2)経営活動で必要とされる専門知識を主体的、継続的に学び、それらを高めていく意識を持つ人

(3)身に付けた知識・能力を他者との協働の場で提供し、他者とそれらを相互に高めあうことができる人

(4)自らの考えや意見を他者に論理的に伝える方法を自ら改善していく努力ができる人

(選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型 選抜		学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜			編入学
	A O	ク ラ ブ	指 定 校 推 薦	特 別 推 薦 (系 列 校)	公 募 推 薦	一 般 ※ 1	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 利 用 ・ プ ラ ス 方 式	特 別 等 ※ 2	社 会 人 、 資 格 取 得 者	留 学 生 ※ 3	
1-(1)	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
2-(1)	◎	◎	○					◎	○	◎	◎
3-(1)	◎	○		○				○	○	○	○
3-(2)	○	○						○	◎	◎	◎
3-(3)	○	○						◎	○	○	○
3-(4)	◎	○						○	○	○	○

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力利用入試があります。

改正 2023年4月25日